

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年12月17日

計画の名称	新世紀岡崎 衛る水のみち構築計画												
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	岡崎市												
計画の目標	下水道整備を行い、命と暮らしを守る総合的な老朽化対策及び事前防災・減災を促進する。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A + B + C + D)	9,712	A	9,706	B	0	C	6	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0.06	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	管渠の長寿命化対策実施率を24%(H27)から100%(H29)へ増加させる。 管渠の長寿命化対策実施率 長寿命化対策を実施した延長(km) / 長寿命化計画に位置付けを行った延長(km)	24%	100%	100%
2	ポンプ場の長寿命化対策実施率を13%(H27)から68%(H29)へ増加させる。 ポンプ場の長寿命化対策実施率 長寿命化対策を実施した資産数 / 長寿命化計画に位置付けを行った資産数	13%	68%	68%
3	管渠の耐震対策実施率を47%(H27)から48%(H30)へ増加させる。 ※H29、H30補正に重点計画へ切出し 管渠の耐震対策実施率 下水道施設の耐震対策指針に準ずる耐震性能を確認・確保した延長(km) / 重要な管路に位置づけられた延長(km)	47%	48%	48%
4	ポンプ場の耐震対策実施率を50%(H27)から62%(H28)へ増加させる。 ※H29に重点計画へ切出し ポンプ場の耐震対策実施率 (その他関連する事業を含む) 下水道施設の耐震対策指針に準ずる耐震性能を確保した施設(箇所) / 全施設数(箇所)	50%	62%	62%
5	災害対応トイレ整備率を53%(H27)から57%(H29)へ増加させる。 ※H29に重点計画へ切出し 災害対応トイレ整備率 設置済み避難所数(箇所) / 下水道認可区域内の広域及び一時避難所数(箇所)	53%	57%	57%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
6	都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率）を81.4%(H27)から81.5%(H29)へ増加させる。 都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率） 概ね5年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全な下水道整備が完了している区域の面積の割合 = (1/5確率降雨相当の雨水整備完了面積(ha)) / (1/5確率降雨相当の雨水整備を実施すべき区域の面積(ha))	81%	82%	82%
7	雨水貯留浸透施設設置支援数を325基(H27)から415基(H29)へ増加させる。 雨水貯留浸透施設設置支援数	325基	415基	415基
8	ストックマネジメント計画策定の進捗率を0% (H28)から100% (H31)へ増加させる。 ストックマネジメント計画策定の進捗率	0%	50%	100%
9	管渠の長寿命化対策実施率を0%(H30)から40%(H31)へ増加させる。（ストックマネジメント計画に基づく） 管渠の長寿命化対策実施率（ストックマネジメント計画に基づく） ストックマネジメント計画に基づく長寿命化対策を実施した延長（km）/ストックマネジメント計画に基づく長寿命化計画に位置付けを行った延長（km）	0%	0%	40%
10	ポンプ場の長寿命化対策として実施設計及び平成31年度施工工事の実施率を0% (H31)から100% (H31)へ増加させる。（ストックマネジメント計画に基づく） ストックマネジメント計画に基づくポンプ場の長寿命化対策として実施設計及び改築工事を実施する。	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
定量的指標4について：※施設を運用しながらでは対策が困難な箇所及びレベル2' 対応を除く												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（	改築	矢作川処理分区（老朽施設）	老朽管改築 L=21.0km	岡崎市	■	■	■			1,000		策定済
		下水道長寿命化計画																	
	A07-002	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ場	改築	雨水ポンプ場・汚水中継ポンプ場	ポンプ場改築 177資産	岡崎市	■	■	■			812		策定済
		下水道長寿命化計画																	
	A07-003	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（	改築	矢作川処理区（地震対策）	管渠耐震対策	岡崎市	■	■				100		策定済
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-004	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（	改築	矢作川処理区（地震対策）	管渠耐震対策	岡崎市				■		180		策定済
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-005	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ場	改築	雨水ポンプ場・汚水中継ポンプ場	ポンプ場耐震化・改築	岡崎市	■	■				370		策定済
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-006	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（	新設	災害対応トイレ（マンホールトイレ）	災害対応トイレ 2箇所	岡崎市	■					8		策定済
		下水道総合地震対策計画																	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-007	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（雨水）	新設	東鹿乗川排水区	雨水管□2000×□1000mm L=200m	岡崎市	■	■				130		—	
	A07-008	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（雨水）	新設	乙川排水区	雨水管φ400～□2100mm L=2000m	岡崎市	■	■	■				760		—
	A07-009	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（雨水）	新設	早川排水区	雨水管φ1650～3250mm L=1950m	岡崎市		■	■				100	1.13	策定済
		下水道浸水被害軽減総合計画																		
	A07-010	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（雨水）	新設	占部川排水区	雨水管□2200mm L=55m	岡崎市	■	■					140		—
	A07-011	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（雨水）	新設	占部川排水区	雨水管φ2600～□2400mm L=820m	岡崎市			■				760	1.45	策定済
		下水道浸水被害軽減総合計画																		
	A07-012	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（雨水）	新設	砂川排水区	雨水管□1600～□2200mm L=450m	岡崎市		■	■				230		—

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-013	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	六斗目川排水区	雨水管φ1100mm L=350m	岡崎市		■	■			70		—
	A07-014	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	竜泉寺川排水区	雨水管□1500mm L=800m	岡崎市		■	■	■		90		—
	A07-015	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	広田川排水区	雨水管□1800mm L=700m	岡崎市		■				6		—
	A07-016	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ 場	新設	福岡雨水ポンプ場	処理能力4.6m3/s	岡崎市		■	■	■		2,250		—
	A07-017	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ 場	新設	六名雨水ポンプ場	処理能力8.0m3/s	岡崎市		■	■	■		100	1.45	策定済
		下水道浸水被害軽減総合計画																	
	A07-018	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ 場	新設	八帖雨水ポンプ場	処理能力25.0m3/s	岡崎市		■	■	■		220	1.13	策定済
		下水道浸水被害軽減総合計画																	
	A07-019	下水道	一般	岡崎市	間接	民間	—	—	雨水貯留施設助成	雨水貯留（30基/年間）	岡崎市		■	■	■		5		策定済
		新世代下水道支援事業制度水環境創造計画（水循環再生型）																	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-020	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	—	改築	ストックマネジメント計 画策定	計画策定	岡崎市				■	■		300		策定中
		ストックマネジメント計画																		
	A07-021	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 合流）	改築	矢作川処理分区（老朽施 設）	老朽管改築L=10.0km	岡崎市					■	■	2,000		策定済
		ストックマネジメント計画																		
	A07-022	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ 場	改築	汚水中継ポンプ場	ポンプ場改築工事、実施設計	岡崎市					■		75		策定中
		ストックマネジメント計画																		
											小計							9,706		
											合計							9,706		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（	新設	災害対応トイレ（マンホールトイレ）	トイレ備品購入	岡崎市	■					6		策定済
1. 0ha未満の避難所においても災害トイレを設置すること及びトイレ備品（帆式テント）を購入することにより、災害時の住民の安全と安心をより確保できる。																			
下水道総合地震対策計画																			
											小計						6		
											合計						6		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

有識者による評価を実施

事後評価の実施時期

令和2年11月

公表の方法

岡崎市ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・下水道施設の計画的な改築及び耐震化を推進し、下水道としての機能確保と、道路陥没や地震時等に対する事故の未然防止に寄与した。
- ・雨水整備事業を推進し、対策地区における浸水安全度が向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

- ・今後も、既存ストックの適正な維持管理に努めるとともに計画的な改築を推進し、下水道施設の機能確保、道路陥没等事故や地下水・土壌環境の汚染等に対する未然防止を図る。
- ・重点計画に移行した耐震・浸水対策については、引き続き施設の耐震化及び浸水被害の軽減を図る。



○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	管渠の長寿命化対策実施率	
	最終目標値	100%
最終実績値	64%	
2	ポンプ場の長寿命化対策実施率	
	最終目標値	68%
最終実績値	68%	
3	管渠の耐震対策実施率	
	最終目標値	48%
最終実績値	48%	
4	ポンプ場の耐震対策実施率（その他関連する事業を含む）	
	最終目標値	62%
最終実績値	62%	
5	災害対応トイレ整備率	
	最終目標値	57%
最終実績値	57%	

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
6	都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率）	
	最終目標値	82%
	最終実績値	82%
計画通り、事業を実施することができた。		
7	雨水貯留浸透施設設置支援数	
	最終目標値	415基
	最終実績値	406基
中間評価を実施した平成29年度時点で補助制度開始から13年が経過しており、制度の浸透とともに進んでいた設置数の伸びが想定よりも鈍化したため。		
8	ストックマネジメント計画策定の進捗率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
計画通り、事業を実施することができた。		
9	管渠の長寿命化対策実施率（ストックマネジメント計画に基づく）	
	最終目標値	40%
	最終実績値	48%
計画通り、事業を実施することができた。		
10	ストックマネジメント計画に基づくポンプ場の長寿命化対策として実施設計及び改築工事を実施する	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
計画通り、事業を実施することができた。		